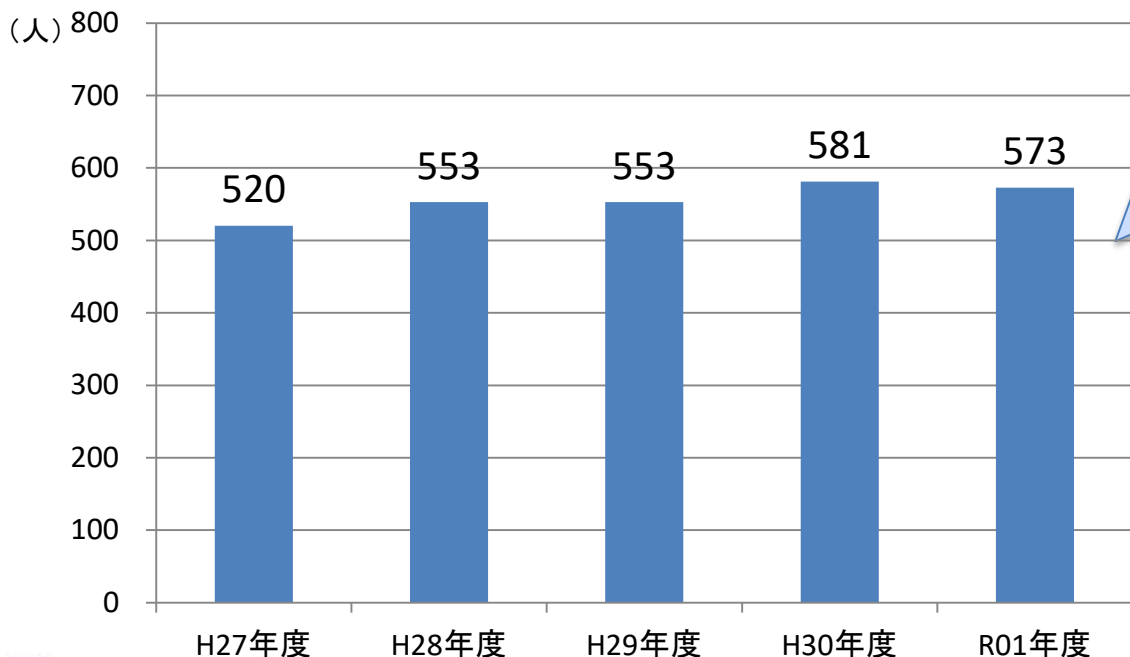


地域への医師派遣数

■ 解説: process指標

国立大学法人附属病院は、教育・研究機能に加え、診療機能に関する社会的使命として、特定される教育・研究機能を支える質の高い安全な診療機能を保持すること、地域基幹病院の最終医療機関として地域全体の医療供給体制を支援する役割を担っており、特に地域への医師派遣は地域医療連携を円滑にする上で重要です。

■ 当院の実績



《自己点検評価》

地域医療連携構想において、地域機関病院の最終医療機関である当院が果たすべき役割の一つが、人材育成であり、医療供給体制を支援することが地域医療連携を円滑に進めることが重要であると考えています。

常勤のみならず、非常勤を含めた医師派遣の充実を図っていきたいと考えています。

■ 定義

令和元年6月1日時点での、地域の医療を安定的に維持することを目的に、常勤医として、自院の外へ派遣している医師数です。自院の分院への派遣は含みません。同門会などからの派遣についても含めて計上します。

■ 算式

地域の医療を安定的に維持することを目的に、常勤医として、自院の外へ派遣している医師数

■ 令和元年度国立大学病院報告書:100床換算:中央値110.93、当院100.70

